

# 03.10.22 まちづくりと政策イノベーション 修士論文 中間発表 練習

## 人口還流現象の実態とその要因に関する研究 - 兵庫県淡路島を事例に

慶應義塾大学 政策メディア研究科 GIプログラム  
修士課程2年 片桐 晓史 #80231523

### 発表の流れ

問題意識・研究目的・研究の流れ

兵庫県淡路地域の概況

Uターン動向の概況把握

アンケート調査の内容

今後の予定

# 問題意識・研究目的・研究の流れ

page  
03 / 18

03.10.22 政策メディア研究科 GIプログラム 片桐 晓史  
「人口還流現象の実態とその要因に関する研究 - 兵庫県淡路島を事例に」

## 問題意識・研究の目的

### 問題意識

中山間地域・・・国土面積の7割  
農業生産の4割  
若年層流出による過疎・高齢化

人口還流の正確な実態把握は  
わが国の地方圏の将来に重要課題

### 研究の目的

兵庫県淡路島を事例に、  
人口還流の実態と要因を解明

どのような条件が整っていれば  
地域に帰還し、どのような役割  
を果たしてゆけるのか

### 研究の意義

既往研究・・・国調、住基  
(✖) Uターンの正確な実数把握  
同窓会名簿分析により  
市町村単位での帰還先の特定  
淡路島・・・  
人口移動を左右する様々な要素



page  
04 / 18

03.10.22 政策メディア研究科 GIプログラム 片桐 晓史  
「人口還流現象の実態とその要因に関する研究 - 兵庫県淡路島を事例に」

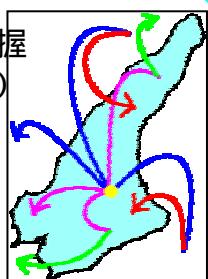
# 研究の流れ

## (0) 淡路地域の概況整理

国勢調査、住民基本台帳、事業所統計  
現地巡検、役場ヒアリング、既往関連研究サーベイ

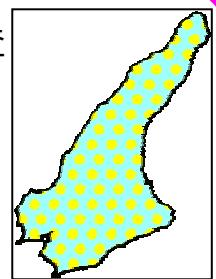
### (1) Uターン動向把握 (同窓会名簿整理)

マクロな把握  
コーホート間比較  
男女間比較  
国勢調査との比較



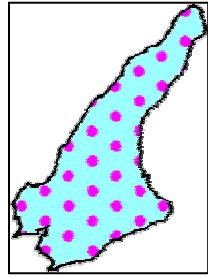
### (2) アンケート調査

属性分析  
年齢・性別・家族  
要因分析  
時期・誘引・阻害  
今後の意向など



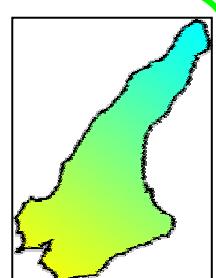
### (3) ヒアリング 調査

ケーススタディ  
ミクロな把握  
地域性



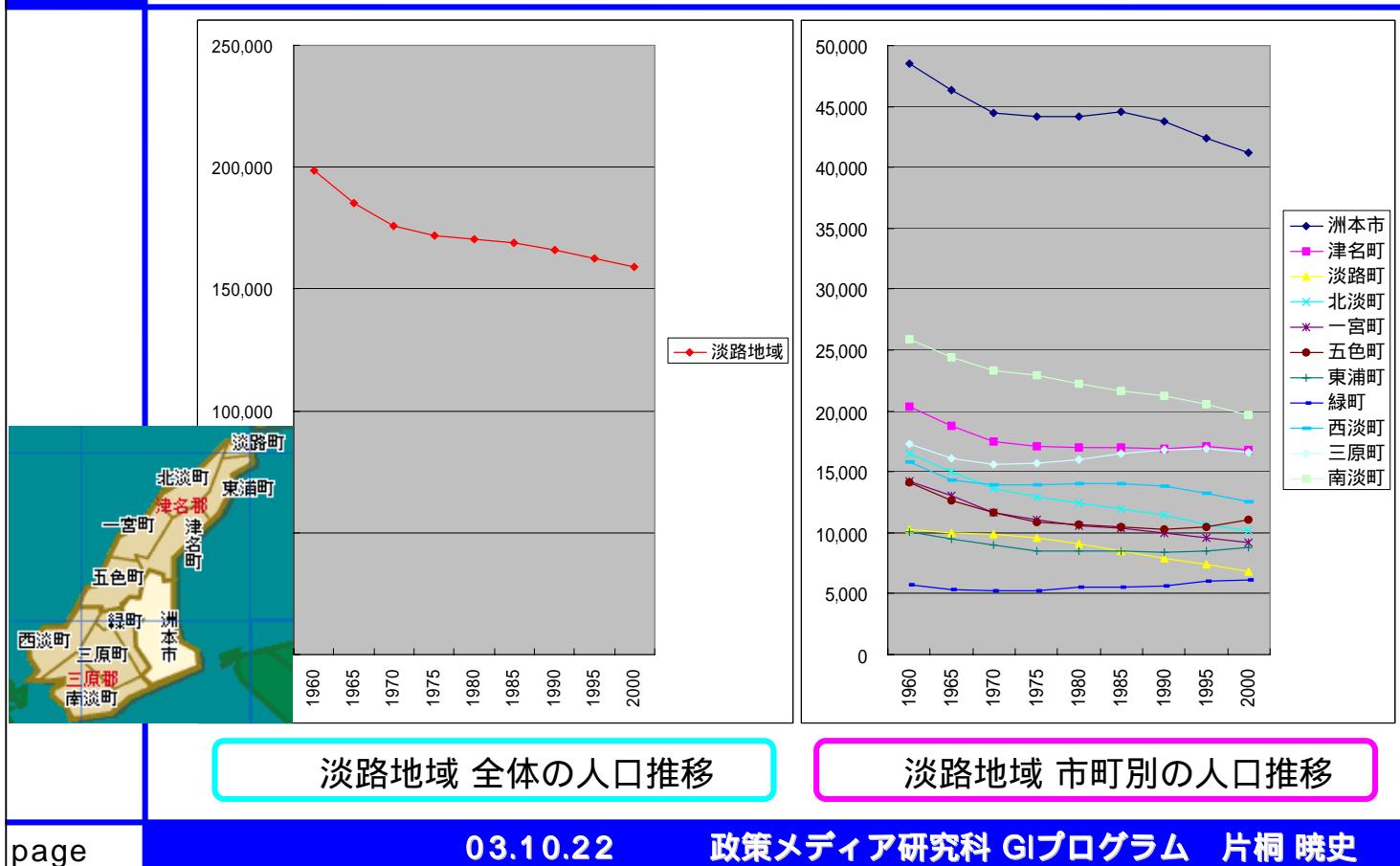
### (4) 考察

人口還流の  
実態・要因  
あるべき条件と  
果たせる可能性



## 兵庫県淡路地域の概況

# 人口の推移



page  
07 / 18

03.10.22 政策メディア研究科 GIプログラム 片桐 晓史

「人口還流現象の実態とその要因に関する研究 - 兵庫県淡路島を事例に」

## 自然増減と社会増減

自然増減率と社会増減率の推移  
(1990~2000)

左右に狭く 上下に広い

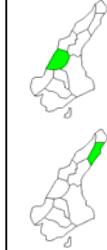
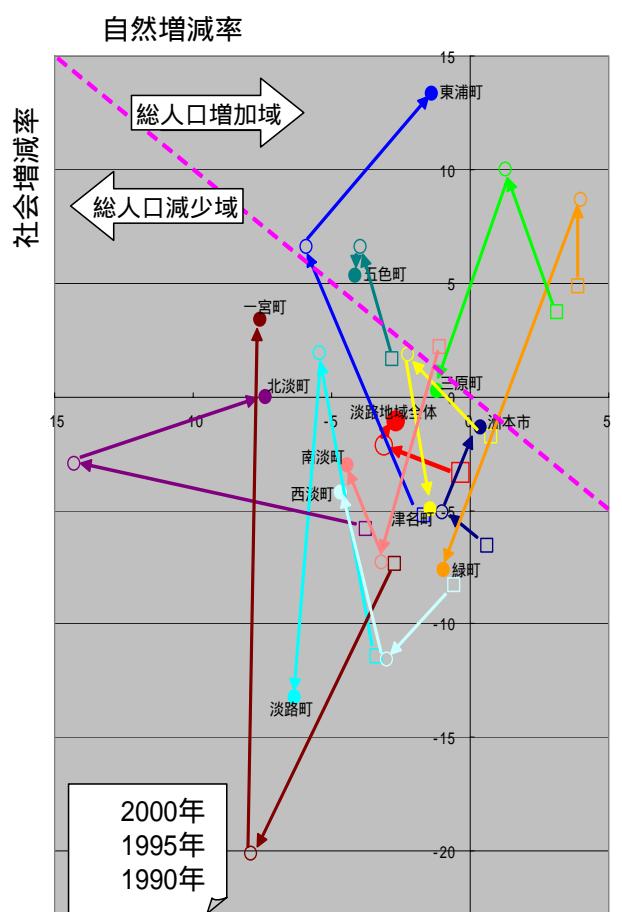
↓  
人口増減の多くの部分が  
社会増減によって担われている

総人口増加域

近年では、五色町と東浦町のみ

<五色町>  
宅地造成・企業誘致・医療福祉

<東浦町>  
神戸圏に対するベッドタウン化



page  
08 / 18

03.10.22 政策メディア研究科 GIプログラム 片桐 晓史

「人口還流現象の実態とその要因に関する研究 - 兵庫県淡路島を事例に」

# 同窓会名簿整理による 高校卒業者のUターン動向概況把握

page  
09 / 18

03.10.22 政策メディア研究科 GIプログラム 片桐 晓史  
「人口還流現象の実態とその要因に関する研究 - 兵庫県淡路島を事例に」

## 同窓会名簿分析によるUターン動向把握

### 整理・分析方法

兵庫県立洲本高校の  
同窓会名簿を利用

1964～2002年の計8冊  
8つのコーントを選定

高校在学時、大学在学時、  
20代後半、～、50代前半  
の居住地を整理

コーント

淡路島へのUターン動向

他地域への流出動向

男女間

淡路島全体

発刊年	昭和39年 1964年	昭和46年 1971年	昭和52年 1977年	昭和57年 1982年	昭和62年 1987年	平成4年 1992年	平成9年 1997年	平成14年 2002年
コーント								
19期生(1948年生まれ)	15歳	22歳	28歳	33歳	38歳	43歳	48歳	53歳
26期生(1955年生まれ)		15歳	21歳	26歳	31歳	36歳	41歳	46歳
32期生(1961年生まれ)			15歳	20歳	25歳	30歳	35歳	40歳
37期生(1966年生まれ)				15歳	20歳	25歳	30歳	35歳
41期生(1970年生まれ)					16歳	21歳	26歳	31歳
46期生(1975年生まれ)						16歳	21歳	26歳
51期生(1980年生まれ)							16歳	21歳
57期生(1986年生まれ)								15歳

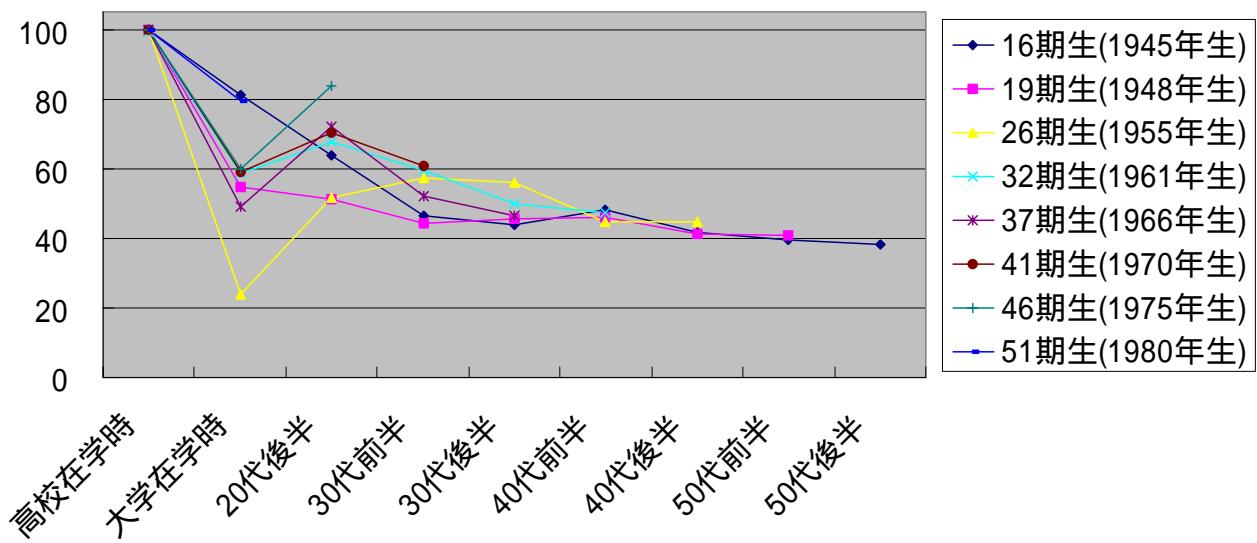
対象コーントの同窓会名簿発刊年における年齢

page  
10 / 18

03.10.22 政策メディア研究科 GIプログラム 片桐 晓史  
「人口還流現象の実態とその要因に関する研究 - 兵庫県淡路島を事例に」

# Uターン動向 コーホートによる比較

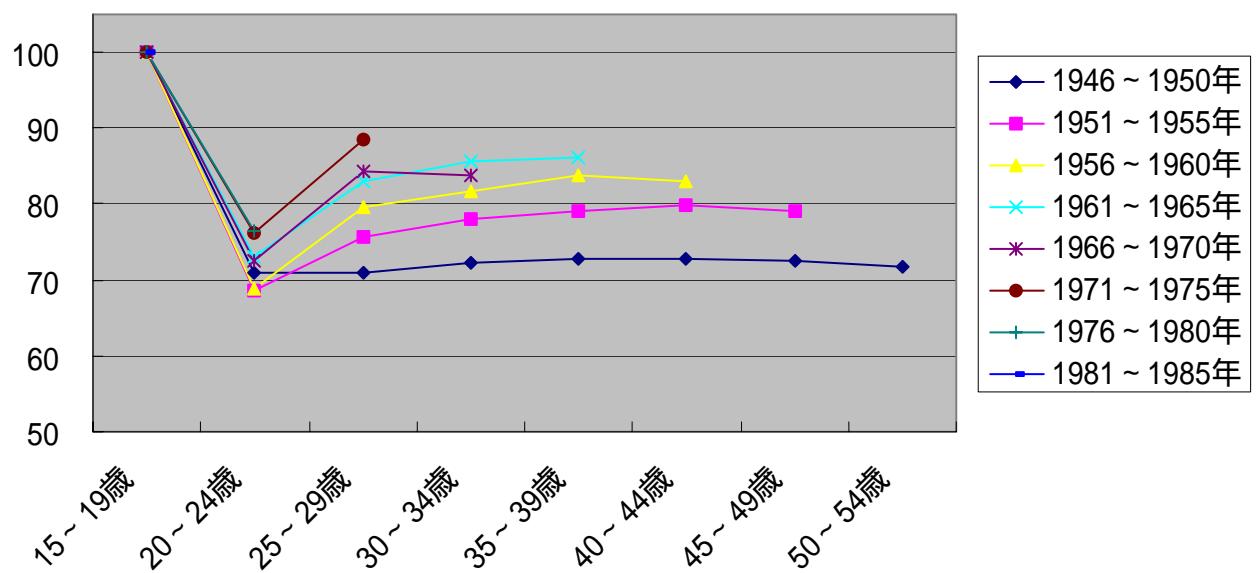
洲本高校卒業生 コーホートによる比較（総数）



大学進学による流出 20代後半のUターン その後の再流出  
Uターン傾向の強まりと再流出傾向の強まり 将来的には在住者減少

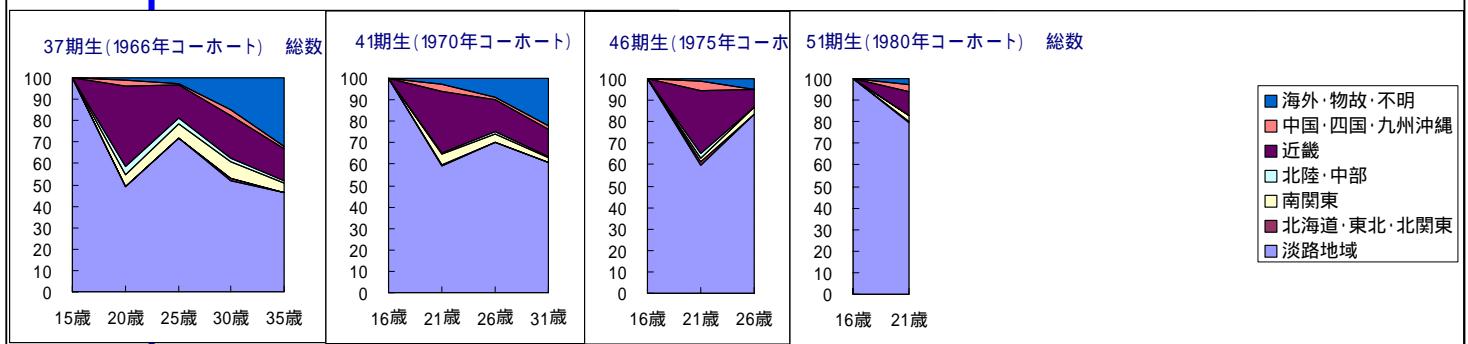
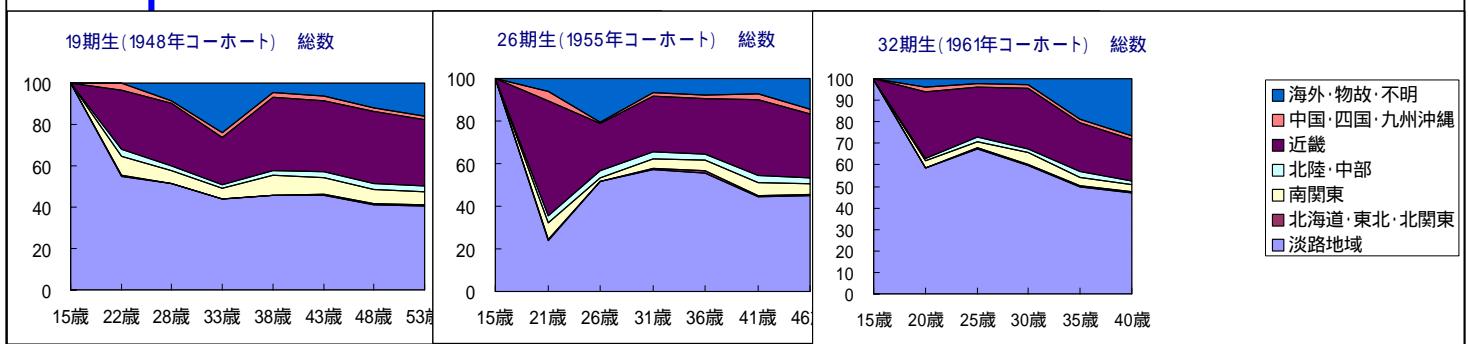
# Uターン動向 淡路地域全体との比較

国勢調査による淡路地域全体（総数）



女性のUターン上昇 洲本高校卒業者には見られず、キャリア女性の流出  
早い段階での定常状態 洲本高校卒業者には見られず、職のミスマッチ

# 他地域への流出動向比較



流出の大部分が近畿圏  
きょうだい数減少、明石海峡大橋開通などから、近畿圏一極集中傾向

page  
13 / 18

03.10.22 政策メディア研究科 GIプログラム 片桐 晓史  
「人口還流現象の実態とその要因に関する研究 - 兵庫県淡路島を事例に」

## アンケート調査の内容

page  
14 / 18

03.10.22 政策メディア研究科 GIプログラム 片桐 晓史  
「人口還流現象の実態とその要因に関する研究 - 兵庫県淡路島を事例に」

# アンケート調査概要

## アンケート調査の目的 「淡路島への帰還実態」

どのような時期、どのような動機・条件の下で帰還しているのか。  
それを阻害している要因は何なのか。  
時代とともに、行動・意識はどのように変化してきているのか。

## アンケート調査の対象・比較法

16期生（1945年生まれ）  
淡路島在住者（帰還者）

コーホート間  
の比較

26期生（1955年生まれ）  
淡路島在住者（帰還者）

コーホート間  
の比較

41期生（1970年生まれ）  
淡路島在住者（帰還者）

帰還・非帰還  
の比較

16期生（1945年生まれ）  
淡路島非在住者（非帰還者）

コーホート間  
の比較

26期生（1955年生まれ）  
淡路島非在住者（非帰還者）

コーホート間  
の比較

帰還・非帰還  
の比較

41期生（1970年生まれ）  
淡路島非在住者（非帰還者）

## 新規性と質問項目

### 既存研究と比べた「新規性」

- ・ライフコースの中でのUターン
- ・男性だけでなく女性の移動実態
- ・Uターン実行後の再流出の実態・要因
- ・地方圏出身者の高齢期における移動・居住
- ・Uターン後の、地域における役割
- ・淡路島の進学高校卒業者という特殊性
- ・Uターン移動は、職業的要因よりも家族現象なのでは？

### 質問項目

- ・基本属性（年齢・性別・きょうだい・学歴・家族構成）
- ・居住経歴（高校在学時～現在）
- ・Uターン検討・実行時の誘引要因と阻害要因  
[ 職業 ][ 家族家産 ][ 社会関係 ][ 地域風土 ][ 淡路地域 ] 的理由
- ・再流出検討・実行時の誘引要因と阻害要因
- ・将来の意向（居住地移動・同居者）

その他

計850名に対し、10月31日返送期日として実施済み

## 今後の予定

## 今後の予定

淡路地域の概況整理  
済み

Uターン動向把握  
済み

アンケート調査  
実施 済み  
分析 ~ 2003.11

ヒアリング調査  
~ 2003.12

考察・修士論文執筆  
~ 2004.01